

【建造物部門】受賞作品

郡家住宅



現存する数少ない武家屋敷の一つで、長い塀と立派な門構えがさすがの風格

【左下】長屋付の腕木門



所在地／野見町

<講評>

騒々しい幹線道路から一步南の街区、城下町特有の丁字路から下ると低層の建物が並び空が開ける。その並びに上部白漆喰、腰豎板張りの塀が40mほど続き、中央部には腕木門と長屋が設えてある。ここは往時の高槻城出丸の辺り、武家屋敷が並んでいた。その光景を彷彿とさせるのがこの建物である。背後の主屋であろう建物の藁の趣きも合わせ、郡家住宅は将来にわたって継承されていく文化的景観に寄与する優れた建造物である。

(選考部会委員 安田 演之)

※第1回高槻市景観賞(令和元年度)について紹介しているホームページはこちら
<http://www.city.takatsuki.osaka.jp/kakuka/toshi/toshiduk/gyomuannai/keikankeikakuto/takatsukishikeikansyou/1572596682711.html>